

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 3月 5日

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|----------------------|-----------|-----------|
| 事業所番号 | 4271600647 | | |
| 法人名 | 有限会社 グループホームゆうゆうてらわき | | |
| 事業所名 | グループホームゆうゆうてらわき | | |
| 所在地 | 長崎県五島市岐宿町松山5 1 3番地1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成23年12月10日 | 評価結果市町受理日 | 平成24年3月8日 |

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|--------------|--|
| 基本情報リンク先 URL | |
|--------------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構 |
| 所在地 | 〒855-801 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所1階 |
| 訪問調査日 | 平成 24年 2月 22日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|---|
| <p>・特に力を入れている点 小規模なホームの為 より家庭に近い環境や雰囲気作りを心がけている。</p> <p>・アピールしたい点 近隣の診療所との協力の下 入居者の健康面を管理し、又 重度化された場合 遠方から付き添いに来られる家族のために宿泊施設を完備している。</p> |
|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

| |
|---|
| <p>当事業所は小規模である利点を最大限に発揮し、家庭的で日常が、自然に当たり前の様に経過していく人間関係作り、季節ごとの行事に積極的に取組まれている。家族が宿泊する為の施設も完備しており、代表者を筆頭に全職員が一丸となって利用者本位の支援活動が行われており利用者、家族にとって安心感、信頼感あふれる事業所である。現在、近隣の入居者は不在であるが、地域行事等を通じ良好な関係作りが構築され、地域に溶け込んだ支援がなされている。今後も、継続して利用者が穏やかな生活を過ごせるように取り組まれる意向である。</p> |
|---|

1 自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | <p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p> | <p>朝礼やミーティングにて理念を唱え、職員全員で理念内容を共有し、業務に取り組んでいる。</p> | <p>『家庭的な雰囲気の中でその人らしく笑顔あふれる』の理念を職員が皆で一字ずつ考えて作成し、新人職員へも機会ある毎に話し合い共有している。</p> | |
| 2 | 2 | <p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p> | <p>地域の保育園や学校などの行事に参加したり又、慰問にきて頂いたりとの交流の場を設けている。</p> | <p>部落の獅子舞、保育園のお遊戯会など、地域の方との交流がある。町内会へは社長が加入しており会合にも参加し、地域の一員として認識されている。</p> | |
| 3 | | <p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p> | <p>事業所は認知症についての様々な研修に参加し認知症ケアの専門性実践力を活かして、地域住民の相談にのったりアドバイスを提供している。</p> | | |
| 4 | 3 | <p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>運営会議では、事業所からの報告と共に参加者の意見や質問、要望等を気楽に出し合える雰囲気作りを行っている。</p> | <p>民生委員、区長の方々も参加されており利用者への愛情あふれる支援をお願いする旨の要望がある等、活発な意見交換が行われている。</p> | |
| 5 | 4 | <p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p> | <p>認定更新の機会等に、市町村の職員、担当の方へ、利用者の生活状況やニーズ等を報告し、連携を密にしている。</p> | <p>市の担当者は運営推進会議のメンバーであり相談、情報交換は適宜に行われている。直近の事例では休職者が出た為、勤務体制に関し相談をされアドバイスを受けられた。</p> | |

| | | | | | |
|----|---|---|--|--|--|
| 6 | 5 | <p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>ミーティングや日々の申し送り時等で その日のケアを振り返り、気づかないうちに言葉の拘束をしていないか抑圧していないかを話しあう。</p> | <p>職員会議、外部研修等を通し身体拘束についての理解を深めている。転倒等を心配される家族には見守りなどの説明を行い理解を得ている。</p> | |
| 7 | | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>勉強会やミーティングを開き、高齢者虐待防止法に関する理解浸透や遵守に向けた取り組みを行っている。</p> | | |
| 8 | | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p> | <p>勉強会を開き、職員の理解を深めている。又 成年後見人制度についての研修に参加し、支援に結びつけている。</p> | | |
| 9 | | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>契約時には事業所のケアに関する考え方や取り組み、対応可能な範囲について説明している。契約変更の場合も本人、ご家族の納得を得られるよう努めている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>運営会議・面会時・訪問時 又 手紙等により、何でも意見や要望を言って頂けるような雰囲気づくりをしている。頂いた意見等を基に話し合い業務に反映している。</p> | <p>支援活動の中で本人、家族の要望を把握している。意思表示が難しい利用者には活字による選択肢を提示し把握している。また、遠方の家族へは電話などにて、意見や要望の聞き取りを行っている。</p> | |
| 11 | 7 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>全体会議やミーティングの際に職員一人一人の意見や要望を聞くようにしている。又、日頃から職員とのコミュニケーションを図るよう努めている。</p> | <p>職員から環境整備の提案を受け清掃、発注等に分担制を取入れる等会議、ミーティングを通じ活発な意見交換が行われている。</p> | |

| | | | | |
|--------------------------|--|---|--|--|
| 12 | <p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p> | <p>代表者も頻繁に現場にきており、利用者と過ごしたり、個別職員の業務や悩みを把握して、職員が向上心を持って働けるよう努めている。</p> | | |
| 13 | <p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>事業所外で開催される研修になるべく多くの職員が受講できるようにしている。研修報告は全体会議で報告し、職員全員が理解し、共有して業務に活かしている。</p> | | |
| 14 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p> | <p>グループホーム連絡協議会の勉強会に参加したり他のグループホームの見学や相互研修、事例検討を通して事業所の人材の意見や経験をケアに活かしている。</p> | | |
| <p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> | | | | |
| 15 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>サービスの利用について相談を受けた場合は必ず、ご本人に会い、心身の状況や思いに向き合い、職員が本人に信頼して頂け、受け入れて頂くように努める。</p> | | |
| 16 | <p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>これまでのご家族のご苦労や今までのサービスの利用状況など、これまでの経緯について、ゆっくり聞くようにしている。話を聞くことで落ち着いて頂き、次の段階の相談に繋げている。</p> | | |
| 17 | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>相談時、本人や家族の思い、状況等を確認し、改善に向けた支援の提案、相談を繰り返す中で信頼関係を築きながら必要なサービスに繋げるようにしている。</p> | | |

| | | | | | |
|--------------------------|---|---|---|---|--|
| 18 | | <p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有している。利用者さんからいろいろと教えていただける機会を多くもつようにしている。</p> | | |
| 19 | | <p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | <p>職員は家族の思いに寄り添いながら、日々の暮らしの出来事や気づきの情報共有に務め、本人と一緒に支える為に家族と同じ思いで支援していることを伝える。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | <p>昔から利用している理美容室に行き続けている利用者さんがいらっしゃるし、住んでおられた近所の方が月に何度かお花などを持って面会にこられます。</p> | <p>近隣的美容院、自宅、想い出の場所へのドライブへ体制が整った時は職員同行により支援を行っている。</p> | |
| 21 | | <p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p> | <p>毎日のお茶の時間は、職員も一緒に多くの会話を待つようにしたり、役割活動等を通して利用者さん同士の関係が円滑になるよう働きかけをしている。</p> | | |
| 22 | | <p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p> | <p>他の事業所へ移られた場合、アセスメント、ケアプランや支援状況等を手渡しと共に情報交換を行い、馴染みの職員が機会を作って面会に行くようにしている。</p> | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p> | <p>日々の関わりの中で声を掛け、把握に努めている。言葉や表情などから真意を確認して、意思疎通が図れるようご家族からの情報等を得ている。</p> | <p>リビング、居室内等での支援活動を通じ思いの把握に努めている。表現が困難な利用者には家族等と話合っている。</p> | |

| | | | | |
|----|---|--|--|--|
| 24 | <p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>ご家族に本人のバックグラウンドに関わる情報の大切さを伝え小さい事柄でも情報を伝えてもらい、それを蓄積し、本人の全体像を知るようにしている。</p> | | |
| 25 | <p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p> | <p>利用者一人ひとりの生活リズムを理解すると共に、行動や小さな動作から感じ取り、本人の全体像を把握している。</p> | | |
| 26 | 10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>ご本人やご家族には日頃の関わりの中で、思いや意見を聞き、反映させるようにしている。ケアを含め職員全員で意見交換やミーティング、カンファレンスを行っている。</p> | <p>担当職員を中心としてモニタリングによる評価を行い、毎月のカンファレンスに全職員が参加し協議の上、ケアプランを作成し共有している。本人、家族の希望については事前の情報収集により組み入れている。</p> | |
| 27 | <p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>職員の気づきや利用者さんの状態変化を個々の記録に記載し、職員間の情報共有を徹底している。</p> | | |
| 28 | <p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>ご本人、ご家族の状況に応じて、通院や送迎等、必要な支援は柔軟に対応し個々の満足を高めるよう努めている。</p> | | |
| 29 | <p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>運営委員会に市の職員や民生委員の方が参加されるようになり、これをきっかけに関係が強化された。周辺情報や支援に関する情報交換、協力関係を築いている。</p> | | |

| | | | | | |
|----|----|--|---|--|--|
| 30 | 11 | <p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>1回/2週の訪問受診、1/週の訪問看護をはじめ緊急時の対応を含め24時間の連絡体制を整えている。</p> | <p>入居時に医療連携の医院を説明しており現在全員提携医受診である。定期的に往診が行われており、口腔ケアも含め歯科の定期的な往診も行われている。また、眼科へも受診の支援を行っている。</p> | |
| 31 | | <p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>医療連携を結ぶ看護師とは、気軽に相談できる関係が築けており、週1回の健康管理や急変時にも24時間の連絡体制を整えている。</p> | | |
| 32 | | <p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院時には、本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し、職員が交代で面会に行き、家族とも回復状況等情報交換しながら速やかな退院支援に結びつけている。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように、随時意向を確認しながら取り組んでいる。</p> | <p>入居時に看取りの指針を基に事業所の方針を説明しているが、継続した家族との話し合いが行われている。職員には緊急時対応について平日頃より話し合っており、医師、訪問看護師等との連絡体制も確立している。</p> | |
| 34 | | <p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>夜間等人手が少ない時の応急処置、連絡方法、連絡順番、対応方法などについて、会議やミーティングなどで勉強会を行っている。</p> | | |
| 35 | 13 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>消防署の協力を得て、年2回の避難訓練、消化器の取り扱い方法等について訓練を実施している。また、地域との協力体制も整えている。</p> | <p>年2回夜間想定も含め避難訓練を行っている。緊急時の通報網に近隣住宅5軒が登録されているが現在まで訓練の参加には至っていない。緊急持出ファイルは準備されている。</p> | <p>地域住民へ積極的な避難訓練への参加案内、緊急時の食料等の備蓄につき検討が望まれる。</p> |

| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
|-----------------------|----|--|--|--|--|
| 36 | 14 | 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 援助が必要な時も、まずは本人の気持ちを大切に考え、さりげないケアを心がけたり、自己決定しやすい言葉掛けをするように努めている。 | 支援活動の色々な場面での声かけ時はプライバシーに配慮した言葉かけに注意されている。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 一人ひとりの状態に合わせて、本人が答えやすく、選びやすいような働きかけをして、些細なことでも本人の表情や言動を見逃さないよう努めている。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりの体調に配慮しながら、その日、その時の本人の気持ちを尊重して本人希望を聞き、相談しながら過ごしていただいている。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 本人の生活習慣に合わせて支援し、また、行事等、日頃からもお化粧やおしゃれを楽しんでいただいている。馴染みの店でのカットや毛染めも連携を欠かしていない。 | | |
| 40 | 15 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者さんと一緒に畑で採った野菜等を下ごしらえしていただき、季節感のある食事を心がけている。又、できる限りの片付けはしていただくようにしています。 | 献立は担当職員がバランスに配慮し毎週作成しており、職員も全員同じ食事である。利用者が希望する献立は状況に応じ組み入れており、畑で作った野菜の漬物作り、下膳等利用者と協同作業も行われている。 | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事に関しては、食事量を毎食1ヶ月表に記載している。利用者さんの状態に応じて食事形態を工夫し、栄養バランスも考えている。水分摂取は個々の嗜好に合わせて提供している。 | | |

| | | | | | |
|----|----|---|---|---|--|
| 42 | | <p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p> | <p>自分でできる方は声掛け見守りを行い、できない方に関しては毎食後のケアを援助して、嚥下障害による肺炎防止などにも努めている。</p> | | |
| 43 | 16 | <p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p> | <p>自尊心に配慮し、利用者さんの様子から敏感に察知し、身体機能に応じて手を差し伸べたり歩行介助をしている。トイレでの排泄を大切にしながら、紙パンツやパッドの使用を検討している。</p> | <p>排泄パターンを把握しプライバシーに配慮され、耳元で小声の声かけによるトイレへの誘導によって自立に向けた支援を行っている。</p> | |
| 44 | | <p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p> | <p>適度な運動と水分補給で便秘予防をし、排泄チェックをおこなっている。便秘に関しては主治医に相談し、緩下剤等の服薬の指示をうけている。</p> | | |
| 45 | 17 | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p> | <p>職員が一方的に決めるのではなく、利用者さんに希望を聞いたり、体調の確認を行っている。又、便粗相が観られた時などはいつでも入浴・シャワー浴で対応できるようにしている。</p> | <p>入浴拒否の利用者には無理強いせず時間をおいての誘導、翌日に入浴する等、対応をしている。また、季節に応じ菖蒲湯、ゆず湯等楽しみながらの入浴が行われている。</p> | |
| 46 | | <p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p> | <p>その方の生活のペースで午睡したり、心地よく眠りにつけるよう、日中の活動に配慮している。眠剤を飲まれている方には睡眠状況を把握し、日中の活動の妨げになっていないかを確認している。</p> | | |
| 47 | | <p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | <p>利用者さんの薬の処方、効能、副作用の説明をファイルに保管し、全職員にわかるように徹底している。処方の変更があった場合は連絡ノートに記録し、状態変化の観察に努めている。</p> | | |

| | | | | | |
|----|----|--|---|--|--|
| 48 | | <p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p> | <p>得意分野で一人ひとりの力を発揮してもらえよう、お願いできそうな仕事を頼み、感謝、お礼の言葉をお伝えするようにしている。</p> | | |
| 49 | 18 | <p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p> | <p>本人の状態や、習慣、希望、季節等により、その時々状況に応じて一人一人が外出を楽しめるよう支援している。</p> | <p>利用者の希望により商店等へ買物に出掛けられている。職員同行による事業所周辺への散歩、美容院、ドライブ等の外出支援も行われている。</p> | |
| 50 | | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>本人・ご家族の意向を考慮し、又、相談しながらその方に応じて少額を持って頂いたり、事業所側で預かり必要時に支払いをしたりしている。</p> | | |
| 51 | | <p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>贈り物などが届いたら、お礼の電話を本人にしていたり、本人とご家族の希望に応じ、電話や手紙での交流のお手伝いをさせていただいている。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>707-の飾り付けや家具の配置は利用者さんと一緒に考えて自分が住んでいるという意識を高めてもらうようにしている。</p> | <p>共用空間は職員手作りのカレンダー等の作品が見やすい位置に掲示しており、畳の部屋にテレビも設置され利用者は思い思いの場所で寛いでおられる。職員と利用者が家族的な雰囲気の中で談笑されている。</p> | |
| 53 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>居室は個室になっており、一人でゆっくりくつろいだり、数名の方が談話できるよう食堂・居間をオープンにしている。テレビを観る人、外の景色を眺める人、それぞれが自由に、安全に過ごしていただけよう努めている。</p> | | |

| | | | | | |
|----|----|--|--|--|--|
| 54 | 20 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 家具やタンス、写真や思い出の品々が持ち込まれ、それぞれの利用者の居心地の良さを配慮している。また、持ち込みの少ない方は、職員と本人が相談しながら、リサイクル品などを使って、温かい雰囲気をもたせようとしている。 | 使い慣れた家具、備品が置かれた居室は職員により清潔、適温に管理され寛げる空間となっている。全室に洗面台が設置してあり衛生面の配慮もなされている。 | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 本人にとって「何がわかりにくいのか」「どうしたら本人の力でやっていただけか」を追求し、状況に合わせて、環境整備に努めている。 | | |

アウトカム項目

| | | |
|----|--|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25) | 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38) | 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37) | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31) | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28) | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19) | 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |

| | | |
|----|--|----------------|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19) | 1, ほぼ毎日のように |
| | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | 3. たまに |
| | | 4. ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | 1, 大いに増えている |
| | | 2, 少しずつ増えている |
| | | 3. あまり増えていない |
| | | 4. 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12) | 1, ほぼ全ての職員が |
| | | 2, 職員の2/3くらいが |
| | | 3. 職員の1/3くらいが |
| | | 4. ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | 4. ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | 1, ほぼ全ての家族等が |
| | | 2, 家族等の2/3くらいが |
| | | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | | 4. ほとんどいない |